

未来への取り組み①

～新たな活力と変革を実感できるまち～

未来への希望を抱く人々が集まり、新しい挑戦や変化が次々と生まれることで、にぎわいと活気のある町を目指します。

充実の医療体制

岩手医科大学附属病院は高度先進医療を提供し、県内の医療の中核を担っていますが、岩手医科大学附属内丸メディカルセンターの附属病院への機能移転・統合に伴い、外来医療、入院医療を一体的に提供できるようになり、交流人口がさらに拡大しています。

また、専門医療を提供する病院やかかりつけ医としてのクリニックというそれぞれの機能を有する医療機関が充実し、本町の医療体制を支えています。

居住環境の整備

岩手医科大学に近接する商業施設の充実、下花立地区・田中地区・藤沢地区など、複数の地区で宅地開発が行われ、良好な生活環境と利便性を兼ね備えた街の形成が進んでいます。全国的に人口減少が進む中、誰もが安心して暮らし続けられる環境づくりを進めることで、人口の維持拡大へ取り組んでいきます。

便利な交通環境

JR・東北自動車道(矢巾SIC)・一般国道4号などが通る矢巾町は交通アクセスも良好な利便性の良い住環境となっています。

町内を移動するときは矢巾町市街地循環バス「やはばす」や矢巾町予約型乗合バス「のりあい号」も利用できます。

さらに、盛岡西バイパス付近から矢巾町を結ぶ「一般国道4号盛岡南道路」の整備に向けた取り組みも始まっており、この事業により、渋滞解消、円滑な物流ルート確保及び岩手医科大学附属病院へのアクセス向上が期待されます。



魅力を発信！！「矢巾町応援アンバサダー」

町の魅力を広く発信するため、4名を矢巾町応援アンバサダーとして任命しています。



ZENDAMAN
(レゲエアーティスト)

工藤有紗
(俳優)



水本圭治
(カヌー選手)



大江裕
(演歌歌手・タレント)